

12月定例会 条例案2件▶可決

仙北市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例

マイナンバー制度施行に伴い仙北市でマイナンバーの利用及び漏洩を防止する為の条例。

仙北市消防団員退職時家族慰労金支給条例 退職消防団員の家族に対し慰労金を支給する条例。

質問 個人番号を提供する意思のない場合はどのような対応になるのか。

答弁 個人番号が提供されると申請をする際に必要となる添付書類(所得証明、住民票)を省略できるが、提供されない場合は添付書類が必要となる。

一般会計補正予算

ふるさと納税ふるさと便事業費 812万円

ふるさと納税返礼品を市内から購入するための費用。

小中学校薬品処分費 540万円

小中学校で保管している使用期限の切れた化学薬品の処分費用。

小中学校体育館天井等落下防止対策事業費 385万円

小中学校の体育館の天井落下防止工事。

質問 ふるさと納税の返礼品として市内から購入された商品の総額はいくらか。

答弁 概算であるが、1,800万円程度が返礼品代として市内の業者に支払われている。

質問 小中学校の化学薬品の処分はどのような方法で行うのか。

答弁 市内、そして、大仙市・美郷町内で業者がない場合は、県南・全県へと範囲を広げ3～5社での入札を予定している。



■処分される学校保管の化学薬品

メガソーラー「大規模太陽光発電」事業についての請願

市内民間事業者が神代黒倉地内に建設中の大規模太陽光発電施設について、事業の見直し等を求める請願書が提出され、委員会ではこれまで審査を続けて参りましたが、市及び発電施設付近の集落と事業者間において、現在、災害防止協定締結に向けて協議中であるため、12月定例会の委員会ではこれを更に継続審査としています。

議会報告会 でのご意見・ご要望 11月9日～11日開催 ～委員会では皆様からのご意見を取り上げています～

質問 秋田内陸線は乗車人員の減少により大幅な赤字になっている。角館を訪れる観光客を誘致するため本社機能を角館駅に持つていくべきではないかとの意見が出されているが、市の考え方は？

答弁 秋田内陸線は総延長94kmの鉄道であるが、保守業務を55人の最小人員で行っている。通常鉄道の保守は1kmあたり1人の人員が必要とされており、内陸線の場合は、路線の中央付近である阿仁合駅に本社を置くことで、どこにでも素早く駆け付けられる体制としている。また、今年4月より角館駅からの観光客誘致のため、角館駅に営業担当の副駅長を配置している。尚、秋田内陸地域交通協議会において沿線住民へ内陸線に関するアンケート調査を実施しているので、調査結果を待ちたい。

質問 一般廃棄物最終処分場をめぐる贈収賄事件だけに限らず、これまで発生した事件、事故は当事者だけの問題ではなく、組織の在り方が問題である。議会で徹底究明して欲しい。

答弁 議会で調査特別委員会を設置して調査中である。調査結果については市民の皆様に報告する。

質問 地方創生特区に指定されたようだが、まだ地に足がついていないようである。議会としても積極的に提言して欲しい。国有林を活用してブタの放牧は半年間も雪に埋もれた場所で実現性はあるのか。

答弁 地方創生に関しては議会で特別委員会を設置して協議中である。ブタの放牧は畜舎を建設し冬期に備える。

質問 クニマス未来館は何故大沢地区に建設するのか。

答弁 大沢地区はかつてクニマス漁が行われた地区でクニマス塚やクニマスに関する文献等が多く残り、その面影が特に色濃く残っている地域であるためである。

質問 未来館の水槽にクニマスを展示して里帰りとは言えない。田沢湖に放流してはじめて里帰りではないのか。

答弁 田沢湖にクニマスが里帰りするためには多くの時間を要する。建設地や湖畔、そして周辺での養殖適地調査を実施している。

質問 平福美術館のマスターキーを紛失したようだが、交換費用は誰が支払うのか。

答弁 美術館の修理費から支出された。紛失した職員は減給処分とし、実質3分の1が補填された。

質問 武家屋敷付近で景観にそぐわない建物があるが、どうにかならないかとの意見が出されている。市の見解は？

答弁 対象と思われる建物は、土地所有者と居住者が別であり、借地権が切れる平成31年以降に検討したい。

市民福祉常任委員会

一般会計補正予算

障害者自立支援給付費

785万円

育成医療費は子供分、更生医療費は主に人工透析分。

児童福祉施設費

78万円

今年4月から保育料の助成制度が改正となるためのシステム改修費用。

生活保護費

9,765万円

生活保護費の内、医療費扶助が非常に増加したための補正予算。

保健衛生総務費

9万円

小学校7校分のフッ素物洗口液を作成するため。

主な質疑

質問 障害者自立支援給付費について、更生医療と療養介護費の内容について伺う。

答弁 更生医療の9割は人工透析費用が占める。その他は、股関節、膝関節、免疫機能の治療である。現在44名が治療を受けているが、医療単価が増額されたための予算である。また、療養介護費については、国立病院機構あきた病院に入所されている方々7名の療養費である。筋ジストロフィーやALSといった重度の障害に対する療養費となる。

質問 歯と口腔の健康づくり推進事業費について、フッ化洗口液の作成はどこが行うのか。

答弁 角館、中川、白岩小学校は、角館総合病院内の薬局、生保内小学校は成田漢方堂薬局、神代小学校は神代調剤薬局、西明寺、桧木内小学校は西木調剤薬局で作ることになる。当初は薬剤保管庫を購入する予定もあったが、各薬局に無償で保管してもらうこととなった。

特別会計補正予算

国民健康保険特別会計

2,018万円

医療費の増減に伴い保険費の見込み額の変更。

介護保険特別会計

3,718万円

老健にしき園の前年度繰越金確定により予備費に充当。

主な質疑

質問 にしき園では介護職員が3名不足である旨の報告もあったが、状況を伺う。

答弁 にしき園では臨時職員の退職により介護職員が欠員となっている。退職理由は様々であるが、労働条件の良い他の施設へ転職するという方々も出ているようなので、これは重く受け止めたい。臨時職員の処遇改善に今後も努めて行く。

質問 臨時職員は正職員と同様の仕事をしているのなら、出来るだけ身分待遇を改善する必要がある。どのように臨むのか。

答弁 臨時職員と正職員の格差はあるが、収入面は出来るだけ引き上げて民間事業所との賃金差を少なくしたい。

議会報告会 でのご意見・ご要望

11月9日～11日開催

～委員会では皆様からのご意見を取り上げています～

質問 病院管理者が亡くなり現在も不在のままであるが、そもそも必要なかったのではないか。

答弁 現在、管理者の権限は市長が持っている。病院事業管理者については、2つの市立病院長とも協議しながら関係機関に協力をお願いしている状況である。

質問 病院建設について将来重荷になるのではないかと、なぜ庁舎とセットで考えられなかったのか。一体性が感じられない。

答弁 今後の収支については、減価償却費の増加に伴い赤字を計上する形となるが、減価償却を除いた現金留保部分については平成29年度以降も黒字を確保出来る見込みである。

質問 中川小の放課後児童預かりについて、3～4日預かって毎日預かって同じ利用料金はおかしいとの意見が出たがどうか。

答弁 中川地区は現在児童館として運営しているため無料である。今後は放課後児童クラブとすることを検討しており、その場合は有料となる。

質問 認定こども園を運営する社会福祉法人の理事は教員や市役所退職者がほとんどだが、社会福祉に意欲のある若い方々を理事とするべきで、それは雇用の拡大にもつながるのではないかと、この意見が出されているが市の見解を伺う。

答弁 社会福祉法人の理事の方に対し報酬があると考えられての意見のようだが、理事は無報酬でお引き受け頂いている。理事会に出席した場合は1日2,200円の日当と、車代として1キロにつき37円の交通費を支給している。

質問 角館総合病院のショートケアを存続して欲しいとの意見がある。病院の見解はどうか。

答弁 現在提供している精神科ショートケアや作業療法等は、スタッフの確保（特に看護師）が難しいため、体制の見直しを含めて新病院開業まで休止としたい。休止期間は愛仙など民間施設への紹介を行う。また、医師による診療や相談業務は継続したい。



■医療の充実が待たれる新病院建設

外国人観光客を増やせ ～地方創生先行型インバウンド誘客促進事業～

12月定例会の産業建設常任委員会で審査された補正予算の内、特に議論が集中した「インバウンド誘客促進事業費」についてご紹介します。そもそもインバウンドとは、「外から入ってくる旅行」すなわち、訪日外国人旅行を指しますが、今、ニュースで話題となっているように、海外からの訪日客は過去最大の勢いで伸びています。日本政府観光局では、昨年1月～11

月までの外国人客数はおよそ1,796万人（前年同期比約47%増）と発表しています。人口減少により国内市場の縮小が懸念される中であって、仙北市もこの流れを逃さずに外国人観光客増加を図り、外貨獲得による経済効果を狙う必要があることから、国の交付金を活用し、誘客事業を積極的に展開する内容の事業となります。

「インバウンド誘客促進事業」の概要

予算内訳 国の交付金「地方創生先行型交付金」 9,805,000円+市の財源 5,675,000円 = 合計予算額 15,480,000円

- 1、旅行代理店等の国内外における店舗網を活用しダイレクトに仙北市を宣伝する。
- 2、外国人向けの旅行商品を企画販売する。
- 3、海外の情報発信面で影響力を持つ人を対象にしたモニターツアーなどで売込を展開する。
- 4、通年型や冬期間の外国人向け体験メニューを開発し販売する。
- 5、外国人観光客のための通訳業務を実施する事業者を募る。
- 6、農山村の持つ魅力（ローカルクールジャパン）の総合的なプロモーション活動を行う。
- 7、金融機関等の海外店舗も活用した誘客活動の実施。

主な質疑

質問 外国人観光客数の現状と事業目標は？

答弁 27年1月～9月の外国人宿泊客数は1.4万人。まずは震災前の2.4万人を達成し、2年後には3万人を目指す。

質問 一般財源を拠出してまでも行う事業なのか？

答弁 本市は東北の中でもインバウンドの拠点と位置付けられ、また国策としても訪日外国人増を掲げており是非実施したい。意見 秋田県も本市もインバウンド対策では他と比較し遅れを取っている。県とも連携し踏み込んだ対策を求める。

補正予算

都市農村交流施設整備事業費 286万円

ハートハーブグラスハウスの床材交換工事費。

温泉事業会計補助金 360万円

温泉事業への補助。燃料費など。

温泉事業会計 新水沢源泉温泉管新設工事 1億円

新水沢源泉から田沢湖高原までの引湯管の敷設工事費。



■高原に引かれる新たな源泉 新水沢源泉

議会報告会 でのご意見・ご要望

11月9日～11日開催

～委員会では皆様からのご意見を取り上げています～

質問 司食品工業の誘致についてはうまくいっているのか。市は公金を扱うのだから慎重であるべきだが。

答弁 12月24日に市長と社長が面会する。しっかりとした詰めの交渉を行い報告したい。

質問 横町橋の歩道は、通勤・通学の方が多く往来するので風除けを設置して欲しいという意見があるがどうか。

答弁 横町橋歩道への風除け設置は構造計算上できない。設置のためには橋脚等下部から全てを作りなおす必要があるため厳しい。

質問 中川地区の圃場整備（同意率96%）に対し、同意率100%になってからでなければ受け付けられないとしているようだが、どのような状況であるのか。

答弁 全体の同意率は96%と非常に高いが、圃場整備区域内で同意できないとするところがかかなりあり、現状では農地集約が難しいため、国や県の理解が得難い。今一度意見集約をして話を持ってきて頂きたいと考えている。

質問 碓沢川（西明寺地区）の水害対策については速やかに対応を求めるが、今後について伺う。

答弁 28年度予算に排水に関する調査費を計上した上で、具体的対策実施に向けて進めたい。

質問 水田耕作放棄地を活用し定年退職者や若者が就農できるサイクルを作るべきとの意見が出ているが市の考え方は。

答弁 耕作放棄地は農地中間管理機構を活用し集積を進めている。若者や定年退職者の就農に向けても支援体制を充実させたい。

庁舎建設特別委員会

建設候補地を角館駅前周辺として中間報告

平成27年7月に設置された「庁舎建設特別委員会」は、これまで15回の委員会を開催し統合庁舎整備について協議を続けています。市は角館病院移転後の跡地を活用した整備基本構想を打ち出していましたが、特別委員会での議論の結果、基本構想やそれに対する反対意見なども熟考の上、庁舎の位置につい

ては、市の提案ではなく、角館駅前周辺を候補地とすべきとの中間報告を行いました。庁舎の位置は、本会議で議員の3分の2以上の賛成が必要であり今後諮られる予定ですが、今回はこれまでの議論や委員会での意見をまとめましたのでご覧下さい。

市提案の庁舎建設基本構想概要

現行の分庁舎方式では、職員の分散によりマンパワーが十分発揮できない。人口減少と厳しい財政に考慮し、各セクションを1ヶ所に集約させ、事務の効率化と市民サービスの向上を図る上で庁舎機能の一体化が必要

建設候補地 角館病院管理棟を活用した整備（財政負担の抑制の観点、現在の利用者状況、他の官庁との連健などから）
事業費 総事業費 27億1,200万円（建物RC造）（合併特例債活用 実質市負担額 9億7,300万円）
各庁舎の今後 角館・中町庁舎（解体） 田沢湖庁舎（総合支所・観光・スポーツ振興、温泉と健康の拠点）
西木庁舎（総合支所、中央公民館、農山村と自然を生かした産業・学習の拠点）
神代・田沢・上桧木内・桧木内出張所は現行のとおり

市の提案に賛成の意見 ～財政的見地から有利だ～

- 出来るだけ費用を抑制する観点からも、病院跡地を活用することが望ましい。
- 現在の角館庁舎の窓口利用率は全体の約60%を占めており、より多くの利用者の利便性を確保できる。
- 市の遊休財産を活用できるため効率的である。
- 合併特例債で現在の病院を解体できるため有利である。
- 他の官公署との連携面でも有利である。
- 仮に候補地を羽根ヶ台地区とした場合、現在の利用頻度からすると、角館地区にも一つ庁舎を整備する必要あり。

市の提案に反対の意見 ～庁舎は神代羽根ヶ台へ～

- 病院管理棟活用案では市民の一体感が生まれない。
- かつて市長が諮問した「みんなの庁舎検討委員会」が出した結論は、市の地理的中央である神代羽根ヶ台地区だ。
- 角館地区のみに公的機関等が集中しすぎである
- 羽根ヶ台地区は用地取得や上下水道、道路などインフラ整備も必要で費用はかさむが、国道沿いで発展の可能性もある。
- 羽根ヶ台は道の駅との併設なども検討できる。
- 羽根ヶ台は合併前3地区の均衡ある発展に資する。
- 統合庁舎整備はそもそも必要ない。現状維持とするべき。

新たな候補地として角館駅前周辺を提案

構想に賛成派・反対派の議論は平行線であったが、一方では、人口減少に対応し、行政効率化を図る上でも、統合庁舎整備は避けて通ることは出来ず、また、合併特例債の発行期限（平成32年）までに行わなければ、建設に有利な財源がなくなってしまうなどの諸課題により、期限内に庁舎の実現を図るため意見の集約が必要とされていた。委員会では一本化に向け、これまでの議論の中で、少数意見ではあったが、基本構想の上方修正的案として出されていた角館駅前周辺を候補地とする案について再度検討した結果、原案に賛成する委員全員と反対する委員の一部も了承する旨の意見があったため、より多くの意見を反映することが出来る角館駅前周辺を候補地とするよう中間報告にとりまとめた。

◇統合庁舎を「角館駅前周辺」を候補地とする案 概要

建設候補地 角館駅前周辺

概算事業費 積算中（市の基本構想よりも6億～10億円の増となる模様）

駅前の有利な点は？

- 角館駅周辺は公共交通が整っている点で有利。
- 市役所機能のみならず民間事業者等との連携の可能性あり。
- 駅前一等地であり、将来、役所規模の縮小時においても、空きスペースの活用がしやすい。また、付近の市遊休地も活用可能。
- 駐車場を活用したイベント活動も期待できる。
- 庁舎機能に加え、農産物等の販売拠点、観光拠点にもなり得る。

駅前の課題とする点は？

- 用地を買収する必要がある。
- 病院の解体事業費には合併特例債が使えなくなり、過疎債など他の財源を検討する必要がある。
- 病院管理棟活用案と比較し、建物鉄骨造の場合でも総事業費が6億程度増加するため、費用圧縮の工夫が必要。
- 病院跡地の活用方法を検討する必要あり。